



エコレポ Vol.15

～忠岡町環境・衛生通信～



▲エコレポデータ版

ペットボトルのゆくえ



こんにちは、ただお課長です！
今回は、普段、資源ごみとして出しているペットボトルがどのように処理されているのかお伝えしていきます。



忠岡町で資源ごみとして出したペットボトルのゆくえは...？

1. 収集

忠岡町では、年間約50トンのペットボトルが回収されています。



(令和6年度収集量)



2. 中間処理

手作業で異物を取り除いた後、特別な機械を用いてボール化（圧縮して梱包すること）します。



機械で圧縮



ボール品

ボール品は、リサイクル資源として売却しています。



3. リサイクル工場

ペットボトルは、洗浄・異物除去・破碎を経てフレークやパレットに変わります。

① 洗浄

② 異物除去

③ 破碎



フレークやパレット

フレーク：ボトルを8mm角に砕いたもの
パレット：フレークを熱で溶かして粒状にしたもの



4. 新しい製品へ



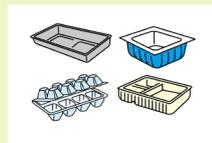
新しいペットボトル製品



繊維製品



プラスチック製品



容器包装



「きちんと分別するほどお金が戻る」って、本当！？

ボール化されたペットボトルの中にどれだけ異物が入っているかを毎年調査し、異物の量に応じて自治体ごとにランクが付けられます。ランクが高いほど売却金額（町の収入）が高くなります。

忠岡町は、令和6年度はBランク（A～Cの3段階評価）でした。

年度	成績	売却量	戻ってきた金額
令和6年度	B	2万4732kg	193万4150円

ペットボトルは下記の手順でのごみ出しにご協力をお願いします。

- ①ラベルを外す
- ②キャップを外す
- ③中をすすぐ
- ④平たくつぶす